

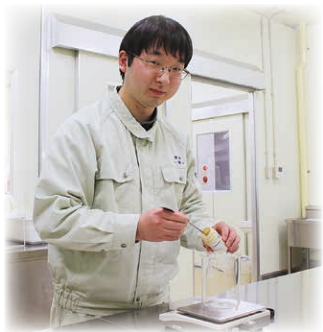
「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ】U&I ときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと（第26回）

とみはらけんいち
富原健一さん



今回は、六日町地区に在住の富原健一さん〔北海道出身〕を紹介します。

Q これまでの経緯は？

A 新潟県内の大学に進学し、所属した日本酒サークルで日本酒の奥深さに興味をもち、平成29年に株式会社八海山に就職し営業部に配属されました。令和元年5月からは八海醸造株式会社に転籍し、研究開発室で勤務しています。

Q 今後の目標は？

A お酒好きの人に、さらに喜んでもらえる商品を開発していきたいです。

Q 仕事面で大切にしていることは？

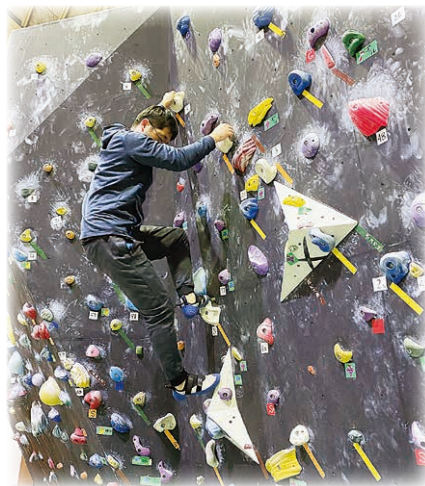
A 研究開発のため市場調査は欠かせません。地域限定商品が発売されると現地まで買いに行きます。日本酒以外の酒類のイベントでも知識を蓄えて、自社製品の説明やお客様対応に役立てています。

Q 南魚沼市の印象は？

A お米がおいしく、どの店に行っても食事がおいしいです。山菜や菊の花を食べる文化には驚きました。

Q 休日の過ごし方は？

A 健康のために週に1回ほど南魚沼市トレーニングセンターでボルダリングをしています。お酒が好きなので、普段からお酒のイベントや市外の飲食店にもよく行きます。学生時代に会った人とその後もイベントで遭遇したり、相談に乗ってもらったりと交流が続くこともあるので、そういった縁は大切にしたいですね。



女性限定首都圏セミナーを開催しました



2月24日(月・振休)に、東京都内で女子力観光プロモーションチーム企画運営の女性限定移住セミナーを開催し、首都圏在住の28人が参加しました。メインゲストに、南魚沼市に10年ほど前から四季折々に訪れ、酒蔵にも足を運ぶほどの南魚沼ファンであるビューティージャーナリストの中嶋マコトさんをお招きし、「空気と水が違うので、南魚沼に行くと肌の調子が良い」など自身の言葉で「雪ふるまち南魚沼市」の魅力を伝えていただきました。

このほか、女子力観光プロモーションチームのメンバーが女性ならではの目線で、実際に移住した時に感じた南魚沼の魅力を伝えたほか、女性インフルエンサー（SNS上での情報発信に大きな影響力を持つ人）も参加し、南魚沼市についてInstagramで情報発信していただきました。

アンケートでは、「南魚沼市のことを知っているけど訪れたことのない」という参加者が7割ほどでしたが、女性に限定したセミナーでも「米、酒」で知名度が高いことが分りました。

